

リレバン推進ワーキンググループ活動報告 (平成28年度アクションプラン進捗状況報告)

平成29年2月15日

1 構成メンバー

(順不同、敬称略)

機関名	職名	氏名
青森銀行	法人営業部 推進支援課 参事役	宮本 康博
みちのく銀行	営業戦略部	駒谷 正人
青い森信用金庫	営業戦略部 次長	松岡 毅
東奥信用金庫	融資部 融資課 課長代理	小山内 史人
青森県信用組合	審査部 調査役	竹林 隆寛
青森県信用保証協会	業務部 業務課 課長補佐	對馬 麗香
青森商工会議所	中小企業振興部長	鳥谷部 義彦
弘前商工会議所	中小企業相談所 経営支援課長	野呂 和宏
八戸商工会議所	中小企業相談所 経営支援2課長	中村 剛志
青森県中小企業団体中央会	連携支援部 連携支援2課 主幹	高野 誠
青森県商工会連合会	広域指導課 参事	塩谷 栄二郎
青森県中小企業再生支援協議会	副統括責任者	石橋 浩之
青森県	商工政策課 商工金融GM	間山 智幸
青森県	商工政策課 主幹	中村 三義
青森県	商工政策課 主査	富田 俊
青森県	商工政策課 主事	月舘 友寛

2 開催状況

- 第1回 平成28年5月10日(火)
 - ・これまでの取組及び今後の進め方について
 - ・アクションプランの検討について
- 第2回 平成28年7月1日(金)
 - ・アクションプランに基づく今後の取組について
 - ・アクションプランの取組項目について
- 第3回 平成28年9月1日(木)
 - ・アクションプランの取組項目について
- 第4回 平成28年10月20日(木)
 - ・アクションプランの取組項目について
 - ・「リレバン・レポート'16」について
- 第5回 平成29年1月26日(木)
 - ・「リレバン・レポート'16」について
 - ・アクションプランの取組項目について
- 第6回 平成29年3月10日(金) ※予定
 - ・アクションプランに基づく今後の取組について
 - ・「イノベーション・ネットワークあおもり」との合同開催

3 アクションプラン各項目の取組概要

(1) リレバン・レポートの充実強化

取組内容(アクションプラン)	今年度の活動状況
<ul style="list-style-type: none"> ①WGが、今年度作成する「リレバン・レポート」の重点テーマ等について検討する。 ②WGが、検討テーマ等を踏まえたアンケート調査項目等を具体的に設定する。 ③県が、「リレバン・レポート」作成に向けたアンケートを実施する。 ④金融機関や商工団体等が、リレバン推進プランの課題に対応した取組状況等の実績を確認する。(資料編) ⑤県がアンケートを取りまとめ、各機関の意見等を踏まえて「リレバン・レポート'16」を作成 	<p>■リレバン・レポート'16作成に向けた検討</p> <p>今年度のリレバン・レポート作成に向け、中小企業向け及び金融機関職員向けアンケートの調査項目、資料編の掲載内容等について検討・整理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの重点テーマ <ul style="list-style-type: none"> 中小企業と金融機関の相互理解促進 中小企業の意識改革やスキルアップに向けて ・資料編の充実 <ul style="list-style-type: none"> 金融機関等における新たな取り組み(地方創生・連携協定等)を追加

(2) リレバン・レポートの発信強化

取組内容(アクションプラン)	今年度の活動状況
<ul style="list-style-type: none"> ①商工団体や金融機関等が、県による「リレバン・レポート」等の説明機会を検討する。 ②県が、説明可能な商工団体等の主催行事等を定期的に確認し、希望があった場合には開催に向けて調整する。 ③商工団体等の主催行事等において、県がリレバン・レポートを説明する。 ④県が、受講者に対してアンケートを実施する。 	<p>■リレバン・レポート等の説明</p> <p>中小企業、経営指導員等を対象とする商工団体等主催の研修会等において説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5/24 弘前商工会議所小規模企業振興委員連絡会議 ・6/14 経営指導員等研修会 ・12/19 熱エネルギー活用推進フォーラム ・2/10 海外展開支援セミナー ・2/23 青森商工会議所小規模企業振興委員連絡協議会(予定) <p>■アンケートの作成・実施</p> <p>説明への評価や受講者の気付き・業務への活用・意見把握等のためのアンケートを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明に対する評価:「理解できた」「どちらかといえば理解できた」という意見が多数 ・業務への活用:試算表等の重要性を経営指導の中で周知していきたいという意見等

(3) 試算表等作成に向けた情報ツールの周知

取組内容(アクションプラン)	今年度の活動状況
<p>①県が、支援情報を掲載するホームページを管理する(最新情報を随時更新)。 ②金融機関や商工団体等が、企業に対して支援情報の周知を図る。</p>	<p>■試算表等作成に向けた支援情報掲載ホームページの更新及び周知の強化 試算表等作成に資する情報(試算表等作成のメリット、作成支援ツール、セミナー等開催情報等)を掲載したホームページへのアクセスの改善及び周知用チラシの内容を直近のリレバン・レポートのデータに更新 ・金融機関・商工団体等ホームページでのリンク設定 ・商工団体等主催セミナー等での周知用チラシの配付</p>

(4) 地公体融資制度の利用促進

取組内容(アクションプラン)	今年度の活動状況
<p>①県が、県内市町村における制度内容を取りまとめ、わかりやすく整理した資料(「目的別早見表」及び「制度一覧表」)を関係機関に提供する。 ②金融機関融資担当者等が、企業からの融資申込時に活用する。 ③必要に応じて、県融資制度についての意見交換</p>	<p>■目的別早見表等の作成 金融機関融資担当者等の業務効率化のため、県・市町村融資制度の「目的別早見表(地域)」及び「一覧表」を作成、関係機関に送付し各機関において有効に活用 ■目的別早見表等を県ホームページで公表 WGでの意見を踏まえ、誰でも見ることができるよう県ホームページに掲載 ■県融資制度についての意見交換 利用促進に向けた課題や新たな融資制度等について意見交換</p>

(5) 各種情報の企業への周知徹底

取組内容(アクションプラン)	今年度の活動状況
<p>①県が、各種情報を取りまとめ、「リレバン推進情報メールマガジン」として各機関に対し定期的に配信する。</p> <p>②各機関が、企業に対して適切に周知(徹底)する。</p>	<p>■『リレバン推進情報メールマガジン』の定期的な配信 県が、中小企業支援に資する各種施策情報(補助・助成金、イベント・セミナー等)を取りまとめ、特徴やセールスポイントを明確にした情報により、中小企業支援機関に対してメールマガジンとして定期的に(隔週)配信</p> <p>■企業に対しての周知(例) ・ホームページにメルマガの内容を閲覧できるページを作成し会員に周知(弘前商工会議所)</p>

(6) 技術等に関する知識の習得

取組内容(アクションプラン)	今年度の活動状況
<p>①INAが、金融機関向けに技術等に関するコーディネーターの養成講座を開催する。</p> <p>②①とは別に、WGが、県内学術研究機関の研究内容等の研修について、依頼内容を検討する。</p> <p>③WGが、INAへ開催を依頼する。</p> <p>④INAが、中小企業支援担当者向けに研修会を開催する。</p> <p>⑤研修会において、INA等が、受講者に対してアンケートを実施する。</p> <p>※INA:イノベーション・ネットワークあおもり</p>	<p>■イノベーションネットワークあおもりものづくり補助金活用セミナーの開催(11/8~9) 金融機関向けに、革新的ものづくり・商業・サービス開発に係る補助金の効果的な活用をテーマに開催 ・県内金融機関の職員20人が参加し、その約8割が研修に満足している。 ・(受講者の声)企業に補助金を提案したい、地方銀行に求められている役割が再確認できた など</p> <p>■イノベーションネットワークあおもり平成28年度認定支援機関向け出前セミナーの開催 2/16(青森・弘前)、2/17(八戸) ※予定 認定支援機関現場担当者向けを対象に、研究機関における企業支援事例や県外金融機関によるコーディネート事例等を紹介 ・県内3会場で計70名程度の金融機関職員及び商工団体等支援機関の職員が参加予定</p>

(7) 経営支援及び融資に関する情報・ノウハウの習得

取組内容(アクションプラン)	今年度の活動状況
<ul style="list-style-type: none"> ①WGが、研修メニューを検討する。 ②金融機関や商工団体等が、研修機会を検討する。 ③県が、希望機関から研修開催に対するニーズ(テーマ、時間、場所、対象者、人数等)を確認し、開催に向けて調整する。 ④講師担当機関(または受講機関)が、中小企業支援担当者向けに研修会を開催する。 ⑤研修会において、県が、受講者に対してアンケートを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 研修メニューの検討 <p>経営支援機能の向上のために実施する研修について、開催を希望する分野等を確認し、複数の支援機関の参加が見込まれる「中小企業の海外展開」に係る研修を開催することを決定</p> ■ 海外展開支援セミナーの開催(2/7弘前) <p>貿易の概論と輸出に向けた留意点や県の輸出・海外展開支援策をテーマに開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金融機関及び商工団体職員30人が参加し、その9割が有意義だったと回答 ・(受講者の声)海外展開について顧客に提案していきたい、具体的な手続きを理解して企業に提案したい など
<ul style="list-style-type: none"> ①WGが、連携・コーディネート機能を強化する上で、各機関が必要とする情報や連携により解決したい課題を抽出する。 ②抽出された情報や課題が、各機関と連携できる取組がどうかをWGで整理する。 ③組織として連携可能な取組がある場合、具体的な連携方法について協議する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 連携・コーディネート機能を強化するための自由な意見交換を実施 <p>主な意見交換の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金融機関と商工団体等のつながりについて <ul style="list-style-type: none"> ⇒担当者レベルでのつながりは希薄な状況であり、関係を構築するきっかけがない。 ⇒創業支援の関係で商工団体を訪れた金融機関職員がおり、このようなことが一つのきっかけになるのではないか。 ・連携を深めるためのネットワークづくりについて <ul style="list-style-type: none"> ⇒お互いの業務を説明する機会を設けて、人的な交流を進めたらどうか。 ⇒地域単位で担当者レベルのつながりができれば連携できることも増えてくるのではないか。

4 今年度の活動を通して

「リレバン・レポートの充実強化」においては、4年ぶりに金融機関職員へのアンケートを実施し、中小企業と金融機関の相互理解促進につながるレポートとなるよう取り組んだ。

「リレバン・レポートの発信強化」「試算表等作成に向けた情報ツールの周知」については、継続して取り組んでいく必要がある。

これまでも一定の効果を上げている「地公体融資制度の利用促進」「各種情報の企業への周知徹底」を継続して取り組んだほか、「地公体融資制度の利用促進」では、より一層地域密着型金融を推進するため、県融資制度の利用促進に向けた課題や新たな融資制度について検討を行った。

「技術等に関する知識の習得」については、昨年度の研修内容を一部見直して実施したほか、「経営支援及び融資に関する情報・ノウハウの習得」についても現場のニーズを踏まえた研修を実施した。

来年度は、引き続き関係機関の理解・協力の下、地域密着型金融プランが最終年度となることを踏まえた取組を行っていく。

平成 29 年 2 月 15 日
青森県商工政策課

リレバン推進プランにおける課題克服に向けた取組状況（平成 28 年度）

1. 青森県特別保証融資制度の対応

○県特別保証融資制度の実施状況（1 月末実績）

（単位：件、千円）

資金名	融資実績			融資枠	
	件数	融資額	前年同期比	融資枠	利用率
未来を変える挑戦資金	317	5,268,678	116.9%	12,000,000	43.9%
経営安定化サポート資金	68	993,000	59.7%	19,000,000	5.2%
事業活動応援資金	778	9,180,760	123.3%	13,000,000	70.6%
経営力強化対策資金	26	722,639	皆増	1,000,000	72.3%
合計	1,189	16,165,077	118.7%	45,000,000	35.9%

○「創業・成長産業推進金融対策事業」の実施状況

「未来を変える挑戦資金」のうち、創業や成長産業分野等に係る取組に対して、信用保証料の 30% を補給し、中小企業の負担を軽減

1 月末実績（補助対象）：287 件 4,025,178 千円（前年同期比 118%（金額ベース））

○「経営力向上割引」の実施状況

四半期に一度、金融機関に経営状況を報告（試算表等を提出）することを条件に融資利率を割引く制度「経営力向上割引」（割引率 0.5%）を実施

（実績の推移）

平成 24 年度（割引対象）：3 件 120,000 千円

平成 25 年度（割引対象）：20 件 291,000 千円

平成 26 年度（割引対象）：41 件 566,920 千円

平成 27 年度（割引対象）：43 件 894,000 千円

平成 28 年度（割引対象）：36 件 831,940 千円（28 年 12 月末）

2. リレバン推進ワーキンググループによる取組

⇒ワーキンググループ活動報告（資料 2）参照